

伊野南小学校 研究主題 いきいき輝け南の子 ～豊かな心と確かな学力の育成をめざして～

児童数は470名、年々児童数が減少する傾向にあります。地域、家庭との連携を図りながら、「読み、書き、計算」を中心とした基礎学力の向上と豊かな心の育成に取り組んでいます。また、学校、地域を花でいっぱいにする活動やあいさつ運動など、開かれた学校づくりの取り組みも進めています。

「いきいきタイム」で学力向上

確かな学力を身につけようと、子どもたちは、週3時間の「いきいきタイム」を活用して、「読み・書き・計算」の力を確実に身につける学習に取り組んでいます。学級ごとにそれぞれ工夫した方法で学習を進めていますが、学年の新しい漢字を一気に覚えたり、計算の速さがみるみる速くなるなど、すでに成果も見られ始めています。

水泳、トランペットで頑張る子どもたち



水泳の季節となり、プールは元気に泳ぐ子どもたちで溢れています。夏休みも、初心者部、水泳記録会に出場する子どもたちの部などに分かれて一生懸命練習しています。

また、本校の特色の一つであるトランペット部は、今年も17名の新入部員を加え、張り切って練習しています。社会を明るくする運動のパレードや町民祭でも、日ごろの練習の成果を披露します。

校長先生による書写授業



今年度、子どもたちは、梶原校長の書写の指導を受けています。始筆、終筆、接筆、はらいなど、書写の基本用語をしっかり使って真剣に練習する姿が、どの学級でも見られます。特に毛筆書写の学習を始めた3年生の子どもたちは、驚くほどの上達ぶり、どの子の作品も自信満々の作品となっています。

広がるあいさつ・ゴミ拾い活動



開かれた学校づくりの取り組みの一つとして行っています。毎月の初め、校門前で元気にあいさつし合う子どもたちの姿が見られます。また、毎週月曜日に行ってきた校内のゴミ拾いの活動をきっかけに、登下校時の通学路や家庭に帰ってからの公園などでゴミ拾いをする子どもたちが増えてきました。先日、いのっ子応援隊から素敵なお礼状をいただき、大きな励みとしながら活動を続けています。

伊野中学校 推進テーマ「よりよい伊野中、みんなが誇れる伊野中」

本年度4月に130名の新入生を迎え、現在、全校生徒数363名で元気に学校生活を送っています。生徒会では昨年より、自分たちの生徒会活動をより多くの生徒に理解してもらおう、活動や取り組みに参加してもらおう、更に地域に自分たちの活動を知ってもらうためにはどうしたらいいか考えてきました。その手段として、昨年2学期より自分たちの伊野中生徒会の「イメージキャラクターづくり」に取り組んできました。

イメージキャラクター作成にあたっては、全校生徒にキャラクター募集を行い、全校で選出された2名の作品をモチーフにして、高知新聞夕刊に「きんこん土佐日記」を連載中の漫画家「村岡マサヒロ」さんにも協力をいただき、このキャラクターが完成しました。デザインについては伊野中の校章でもある「鳩」をモチーフ化し、名前は広く地域にも募集し、「つばさ」と「みらい」に決定しました。これからは「あいさつ運動」や様々な生徒会活動に、この「つばさ」と「みらい」がいろいろなかたちで登場します。

ご協力いただきました皆様、どうもありがとうございました。

優れたネーミングに対して校区の小学生に「村岡マサヒロ賞」、小学校に感謝状がそれぞれ伊野中生徒会より送られました。



「村岡マサヒロ賞」の贈呈



小学校への感謝状贈呈



学校運営を地域に開く 「開かれた学校づくり」から発信

このコーナーでは、各園・学校の取り組みや様子をお知らせし、地域の学校としての情報発信をしています。地域の皆様には、様々な取り組みにご理解とご協力をいただいておりますが、今後とも地域ぐるみで子どもの健全育成に関わっていただけますよう、よろしくお願いいたします。

勝賀瀬小学校

毎月「5の日」は学校応援団の日!!



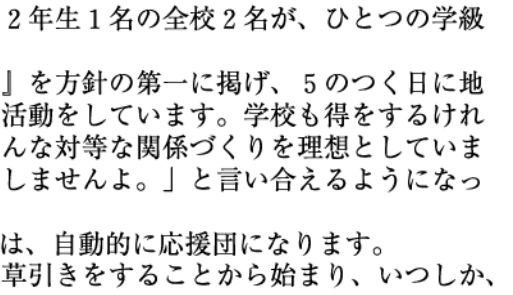
大好きなグラウンドゴルフ

今年度は、1年生1名、2年生1名の全校2名が、ひとつの学級で学習しています。

「地域参加型学校の創出」を方針の第一に掲げ、5のつく日に地域の皆さんとともに合同の活動をしています。学校も得をするけれど地域の方も得をする、そんな対等な関係づくりを理想としています。ですから、「お茶も出しませんよ。」と言い合えるようになってきました。

学校に来てくださった方は、自動的に応援団になります。そうじの時間帯と一緒に草引きをすることから始まり、いつしか、子どもたちも大好きなグラウンドゴルフがフィーバーの兆しを見せて、早くも5回のラウンドを数えました。4人組で4グループがプレーする規模になっています。

次回は、5の日の午後2時に学校応援団のグラウンドゴルフをする予定です。その時に、学級園の収穫があれば、子どもたちの八百屋（百円均一ならぬ）「20均屋さん」も店開きします。「ふれあいルーム」が地域の方のための基地となっています。ほんとに、いつでも学校に来てください。



今年度は、1年生1名、2年生1名の全校2名が、ひとつの学級で学習しています。

「地域参加型学校の創出」を方針の第一に掲げ、5のつく日に地域の皆さんとともに合同の活動をしています。学校も得をするけれど地域の方も得をする、そんな対等な関係づくりを理想としています。ですから、「お茶も出しませんよ。」と言い合えるようになってきました。

学校に来てくださった方は、自動的に応援団になります。そうじの時間帯と一緒に草引きをすることから始まり、いつしか、子どもたちも大好きなグラウンドゴルフがフィーバーの兆しを見せて、早くも5回のラウンドを数えました。4人組で4グループがプレーする規模になっています。

次回は、5の日の午後2時に学校応援団のグラウンドゴルフをする予定です。その時に、学級園の収穫があれば、子どもたちの八百屋（百円均一ならぬ）「20均屋さん」も店開きします。「ふれあいルーム」が地域の方のための基地となっています。ほんとに、いつでも学校に来てください。

20円均一の「20均屋さん」

枝川小学校



7月14日（木）午後、枝川にお住まいの岡本氏・伊藤氏・岡田氏・岡林氏のご協力をいただき、たくさんのお花を植えることができました。

栽培委員会の児童とボランティアや学校帰りの子どもたちが、30名近く集まりました。子どもたちは初夏に種を植え大切に育ててきたマリーゴールドとサルビア、日々草、ペゴニア、そして、いの警察署でいただいた百日草の一部と堆肥を公園まで一輪車で運びました。

公園に着くと、そこには日よけのパラソルが張られ、休憩用の青いシートが広げられていました。地域の方々の子どもたちを大切に思ってくださる温かい気持ちに感謝しながら、あいさつをし、花苗を植え始めました。たくさんのお花が参加していただきましたので、移植は、あっという間に終わりました。作業後の手洗い水も準備していただきました。

それ以来、毎朝6時に地域の方がポリ容器やバケツに水を入れ、一輪車で運んで、かかさず水やりをし、大切にしてくださっています。

地域と学校の連携がいつそう深まりました。

伊野地区婦人会
チャリティバザー
日程変更のお知らせ
9月11日（日）に予定していましたがチャリティバザーは、衆議院議員総選挙のため次のおり変更します。
10月2日（日）10時～
伊野公民館大集會室

3・4年女子の部
100m走（16秒46）
第3位 矢野愛実（伊野南小）
走り高跳び（1m35cm）
第1位 角田創志（伊野小）
4×100mリレー（58秒67）
第3位 いの町陸上教室A
関 友輝（伊野南小）
岸本拓磨（伊野南小）
三浦克也（伊野小）
角田創志（伊野小）

日清食品カップ
第21回全国小学生
陸上競技交流大会
高知県選考会競技結果
7月17日（日）春野陸上競技場